

令和六年一月一日 祈願祭

神 示

いよいよ人類は 眞実「眞理」に生きる時代を 迎えてゆく  
運命・実体で 関わり 回る 社会の姿に気付いて

いよいよ人類は 生きる姿を変えて行く

この間 かん 気付きを得ない人々は 変化にのまれ 実体に泣く  
信者に申す

神が世に示す「教え」を学び 「眞理」に生きる人を目指せよ

この思いが 気付きを引き出し 実体を高めて行く

なぜ 世界の姿が 大きく変わってゆくのか—— 眞実「眞理」が分かるかや  
運命の存在に気付けずに 政治 経済を軸に生きた 今日までの社会の姿が

「眞理」なき世界へと 実体を下げてきた

眞理なき世界に 人類は生きられない

ますます「道」欠き 外し 実体を下げて行く

互いの運命は重ならず 補い 支え合う社会を築けずに 壊してしまふ

世界の眞実すがたを 神示「眞理」を通して見てごらん

「眞理」を欠く世界が いかに運命を枯らし 生きる気持こころちを抑え込むか

今年こんねんの課題は

家族が神示「眞理」に 多くの気付きを得て

「眞理」で関わる家庭を築く努力こころ

この努力が 実体を引き上げ 運命に導かれた人を育てる  
和心わこころ育む家庭の環境そんざいが いかにか社会の姿を豊かにするか

「教え」に生きること 信者は悟りを深めてゆく

迎える終日 その時に 人間は

神の手の中 魂たまご包まれ 今日いまを「生きる」 その尊さを体感する

人間が「生きる」家庭に 「眞理」があることで 人類は

「心の道」に良き因を残し

高い運命・実体で 次の人生をつないでゆける

調和する社会の眞実すがたが ここにある